

# 現代国家と司法

講師 渡辺洋三 (元東大社会科学研究所教授)

著書  
「法社会学と法解釈学」 「現代法の構造」  
「土地と財産権」 「憲法と現代法学」  
「法とは何か」 「憲法のはなし」  
「1980年代と憲法」 等々。

12月14日(火) 4時～  
法経 7番

チケット 100円  
(セブン or JBox)

(企画についての質問等は 京大法学部自治会Boxまで tel. 075(751)2111(内)3256)

最近の最高裁の動向の特徴、これを材料にしながら何故裁判官が異なるとその判決が異なるのかという問題を、裁判官の憲法意識の分裂という観点からお詫びいたします。又、裁判が現代国家にどのように位置づけられていくか我々はこれをどう見てゆけばよいかという問題に触れながら、裁判官のする「解釈」をク

ローズアップします。法解釈とは何で、正レマの基準は有るのか無いのか、法解釈は科学たりうるのか、といった問題にも触れていただい

く。

1人でも多くの方の参加をお願いします。

主催：法学・政治学ゼミナール

大会実行委員会

後援：京都大学法学部自治会